

なかべ
平成28年度 中部奨学会奨学生募集要項

中部奨学会では、以下の募集要領により、平成28年度奨学生を募集します。

1. 応募資格

大学学部・大学院に在籍する学生（学年は問わない）で人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者

2. 募集人員
- | | | |
|-----|-----------|-----|
| 支給生 | 大学院後期課程 | 6名 |
| 貸与生 | 大学院博士前期課程 | 5名 |
| | 大学（含短大） | 10名 |

3. 募集期間

平成28年4月1日（金）より ⁴ ¹⁸ 月 ¹⁰ 日（火）まで

4. 奨学金の額（月額）

大学院後期課程	50,000円
大学院前期課程	60,000円
大学（含短大）	35,000円

5. 奨学金の貸与・支給の期間

平成28年4月から、在学における最短修業年限の終期まで

6. 提出書類 ~~※MC1年及びDC編入学1年は下記②の提出不要~~

- ①奨学生願書
②奨学生推薦調書（~~学長等の推薦書~~）→~~指導教員~~に記入を依頼する（職名・氏名・押印を必ず添付し）
③成績証明書（1年生は出身学校あるいは出身課程の成績証明書を、在学学生/2年生以上は在籍する大学あるいは課程の成績証明書をご用意ください。）
④平成27年分の収入に関する証明書類（源泉徴収票又は確定申告書（写し可））

7. 書類提出期限

平成28年5月10日（火）当日消印有効 4/18（月） 17:15 教務係締切

8. 採用者決定および通知

平成28年6月下旬までに選考委員会にて採用を決定し、応募大学に採否を通知します。

9. 貸与金返済方法など

奨学金（貸与金）の返還は、貸与終了1年後から15年以内に完済いただきます。支給生については返還の必要はありません。

10. その他

当会奨学規程による。

~~1-1. 募集事務取扱いの場所~~

~~「公益財団法人中部奨学会事務局」~~

~~〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030番地 神奈川工科大学 総務課内~~

~~—担当— 小川・山口 —(TEL:046-241-1214 FAX:046-241-6828)—~~

奨学生願書・推薦調書記入上の注意

<願書について>

1. 奨学金貸与月額・支給月額・期間も必ず記入して下さい。
2. 年を記入する場合は「西暦」（2016年等）で表記してください。
3. 家計及び家族の状況欄

◇主たる家計支持者

2015（平成27）年分源泉徴票・確定申告書で確認の上記入し、源泉徴収票・確定申告書は添付（コピー可）してください。

◇本人及家族

本人を含む就学者があるときは、通学種別も必ず記入してください。

主たる家計支持者の他に収入のある人がいる場合は、職業・勤務先名・年収・所得金額も記入してください。

4. 参考事項欄

最近一ヶ月当たり平均学費

収入と支出の合計額が同額になるようにして下さい。

先に支出を出してから、収入欄に書き込んでください。

5. 本人及び連帯保証人は、各自がそれぞれ署名捺印をし、印鑑は別々の物を使用してください。

<推薦調書について>

^{指導教員}
~~在学する学校・大学等~~で記入押印してください。

新入生については出身学校の成績証明書・在学生については在学学校の成績証明書が必要です。

新入生に関する推薦所見は、「成績証明書の通り奨学生として適当と認め推薦します。」と記入いただければ結構です。

奨 学 生 願 書

貸与生(学部生・大学院博士前期課程)用

本 人	フリガナ		性別 男・女	奨学金貸与月額		円			
	氏名			貸与期間	始期	年	月		
	生年月日 西暦		年	月	日生(満 歳)	年	月		
	現住所	〒			本籍地				
家 族 住 所	フリガナ		TEL						
	〒								
他の奨学金		※受けていない・申請中・受けている 名称		月額	円(給付・貸付)				
		複数ある場合にはすべてご記入ください							
同 一 生 計 の 家 族	就 学 者 を 除 く 印	続柄	氏名	年齢	職業の種別該当事項に○ 勤務先名	収入・売り上げ金額	所得金額 (税抜き)	※ 同・ 別居	
		父		才	※給与・事業・その他				万円
		母		才	※給与・事業・その他	万円	万円	同・別	
		※父・母が死亡・生別の場合はその年月(年 月)							
		主たる家計支持者が無職(失業)の場合はその年月(年 月)理由()							
	(本人を除く) 就 学 者	続柄	氏名	設置者	就学者種別		※通学別		
				国公・私立	小・中・高・高専・専門・大学		自宅・自宅外		
				国公・私立	小・中・高・高専・専門・大学		自宅・自宅外		
				国公・私立	小・中・高・高専・専門・大学		自宅・自宅外		
				国公・私立	小・中・高・高専・専門・大学		自宅・自宅外		

※欄は該当事項に○をしてください

奨学会 使用欄	決定番号	貸与月額	貸与期間
		円	年 月 ~ 年 月

参 考 事 項	奨学金を希望する理由				
	本人の履歴	年 月 日	高校入学		
		年 月 日	高校卒業		
		年 月 日	大学入学		
		年 月 日	大学卒業		
		年 月 日			
一ヶ月当たり の平均学費 (収入⇋支出)	収入		支出		
	家庭から	円	生活費	円	
	アルバイト等から	円	交通費	円	
	奨学資金から	円	学校納付金	円	
	その他から	円	書籍・学用品	円	
		円	その他	円	
	計	円	計	円	
注意 新入生は入学後の1ヶ月当たりの見込みを記入すること					

以上の記載事項に相違ありません。万一記載事項に相違がありました場合、奨学生の採用を取り消されても依存ありません。
 また貴会の奨学生として奨学金の貸与を受けられることになった場合は、奨学金貸与規定を守り、奨学生としての責務を果たし、かつ貸与終了後は貴会の規程に従い、奨学金の返還義務を誠実に、履行することを連帯保証人連署のうえ、誓います。

年 月 日

公益財団法人 中部奨学会 理事長 殿

本 入	氏名	住所	印
		〒 - 電話 ()	
(自署押印) 連帯保証人	フリガナ	住所	印
		〒 - 電話 ()	
本人との関係: 父・母・兄弟()		(生年月日) 西暦 年 月 日	

*連帯保証人は、父母兄弟またはこれに代わる者で、奨学金返還の責任を負いうる者であること。

奨学生願書

支給生(大学院博士後期課程)用

本人	フリガナ		性別 男・女	奨学金支給月額		円			
	氏名			支給期間	始期	年 月			
	生年月日 西暦 年 月 日生(満 歳)			終期	年 月				
	現住所	〒			本籍地				
	TEL:								
	E-mail:								
在籍大学院	☒国・公・私立		大学大学院	入学		年 月			
			研究科	修了予定		年 月			
			専攻	年		年 月			
家族住所	フリガナ								
	〒		TEL						
他の奨学金		※受けていない・申請中・受けている 名称		月額	円(給付、貸付)				
		複数ある場合にはすべてご記入ください							
同一生計の家族	就学者を 主たる家計支持者に○印	続柄	氏名	年齢	職業の種別該当事項に○ 勤務先名	収入・売り上げ金額	所得金額 (税抜き)	※同・別居	
		父		才	※給与・事業・その他	万円	万円	同・別	
	母		才	※給与・事業・その他	万円	万円	同・別		
	父・母が死亡・生別の場合はその年月(年 月)								
	主たる家計支持者が無職(失業)の場合はその年月(年 月)理由()								
					才	※給与・事業・その他	万円	万円	同・別
					才	※給与・事業・その他	万円	万円	同・別
					才	※給与・事業・その他	万円	万円	同・別
	(本人を除く) 就学者	続柄	氏名	設置者	就学者種別		※通学別		
				国公・私立	小・中・高・高専・専門・大学		自宅・自宅外		
			国公・私立	小・中・高・高専・専門・大学		自宅・自宅外			
			国公・私立	小・中・高・高専・専門・大学		自宅・自宅外			

※欄は該当する事項に○をしてください

奨学会 使用欄	決定番号		支給月額	支給期間
			円	年 月 ~ 年 月

参 考 事 項	奨学金を希望する理由				
	本人の履歴	年 月 日	高校卒業		
		年 月 日	大学入学		
		年 月 日	大学卒業		
		年 月 日	大学院博士前期課程入学		
年 月 日		大学院博士前期課程修了			
年 月 日		大学院博士後期課程入学			
一ヶ月当たり の平均学費 (収入と支出)	収入		支出		
	家庭から	円	生活費	円	
	アルバイト等から	円	交通費	円	
	奨学資金から	円	学校納付金	円	
	その他から	円	書籍・学用品	円	
		円	その他	円	
	計	円	計	円	
注意 新入生は入学後の1ヶ月当たりの見込みを記入すること					
<p>以上の記載事項に相違ありません。万一記載事項に相違がありました場合、奨学生の採用を取り消されても依存ありません。 また貴会の奨学生として奨学金の支給を受けることになった場合は、中部奨学会規程を守り、奨学生としての責務を果たすことを連帯保証人連署のうえ、誓います。</p> <p>年 月 日</p> <p>公益財団法人 中部奨学会理事長 殿</p>					
本 人	氏名	住所		印	
		〒 - 電話 ()			
(自署押印) 連帯保証人	氏名	住所		印	
		〒 - 電話 ()			
本人との関係：父・母・兄弟()		(生年月日) 西暦 年 月 日			

*連帯保証人は、父母兄弟またはこれに代わる者であること。

中部奨学会推薦調書

氏名		在学 学校	立	大学 高校	制	部 科	年
出身学校の成績	教科						成績 平均値
	年						
	年						
在学学校の成績	教科						成績 平均値
	年						
	年						
推薦所見 〔 学力 人物 家庭状況 〕							
参考事項							
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: center;">学校長(学長)</p> <p style="text-align: center;">公益財団法人 中部奨学会理事長 殿</p>							
※判 定							

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身学校の成績」及び「在学学校の成績」の欄については、成績証明書の添付でも差し支えありません。1年生は「出身学校の成績証明書」、在学学生は「在学学校の成績証明書」となります。